

事業番号	15 03 14	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地方創生のモデルとなる新しい高校づくり推進事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-6 教育再生プロジェクト			課・局・室	高校教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 4 安全・安心・信頼の学校づくり			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-2 活力と循環の信州経済の創出 4-2 信州創生を担う人材の確保・育成		実施期間	H27 ~		
	施策展開	2-(3) 知の集積と教育の充実 イ 未来の信州を担う子供たちの教育の充実 (ア) 多様な教育の推進					

1 事業の概要

目指す姿	(1) 観光人材の育成 観光産業に貢献できる人材、観光振興を通じて地方創生に貢献できる人材、観光のグローバル化に対応できる人材の育成を目指す。 (2) 地域の活性化 全国から志願者を呼び込むことで地域の更なる活性化を図り、地域の観光資源などを高校の教育に積極的に導入・活用することで、地域の自律的・持続的な発展につなげる。					
現状 (予算編成時)	白馬高校への観光系学科の設置については、白馬、小谷両村より協力、支援の申し出があり、知事部局などと検討を重ねた結果、平成27年6月18日の県教育委員会定例会において、国際観光科の設置を決定した。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 長野県立高等学校管理規則 第1期長野県高等学校再編計画				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28) 地域の観光資源を活用した魅力あるカリキュラムの開発・展開を行うとともに全国から生徒を募集する。さらには学校運営協議会を設置・運営し、地域と連携した学校づくりを行う。 県外からの入学予定者数: 15名 (設定理由: 少子化による志願者減少の抑制や県外生の入学による地域や学校の活性化が期待される。)					
	② 事業内容 (単位: 千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
	白馬高校国際観光科設置	直接	・カリキュラム・コーディネーターの配置 ・生徒の全国募集活動 ・TT(チーム・ティーチング)、高大連携授業の実施 ・学校運営協議会の設置・運営	-	3,836	5,581
	合計			0	3,836	5,581

事業コスト	区分(単位: 千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越		4,176		項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	0	0	5,581				目標	成果		達成状況
	補正予算	6,075			県外からの入学人数	-	15人	15人	18人	達成	-
	合計(A)	6,075	4,176	5,581	国際観光科に入学した生徒のうち、県外出身者の割合	-	-	-	-	-	37.50%
	一般財源	4,176	4,176	5,581							
	県債										
	国庫支出金	1,899									
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	1,542	3,836								
概算人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50							
	概算人件費(C)	4,138	3,957	3,957							
	概算事業費(B(A)+C)	5,680	7,793	9,538							

目標に対する成果の状況	東京、大阪の大都市で全国募集活動を計画的に実施したため、目標を超える入学者となった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 地域や学校の活性化が期待できるため、学校運営協議会で事業内容を精査しながら、地域を連携した学校づくりを行う。
--------------------	---